

封印ファイル

封筒B

このファイルは読まずに印刷してください。印刷したページを「B」と書いた封筒に入れ、封をします。

次のページの質問への答えがチームでまとまるまで開けないでください。

B

封筒B

犯人はその夜どうやって島に渡ったのか？ また、どんな
名前を使ったのか？

ここで切り取って封をしてください。チームの答えがまとまるまで開けないでください。

貸しボート

フェリーはその夜の運航を終え、ポート・ウェスコットに停泊していた。21:40、都会の靴を履いた背の高い男が、「**E・ローソン**」の名でウェスコット・マリン&フューエルから3号ボートを借り、22:05に給油して、航海灯をつけずに出ていった。

その50分後――23:10――サイラスは、灯火のない船外機付きの船が南岩棚の船着き場に向かうのを記録した。この船着き場は干潮（その夜は23:20）の前後しか使えない。ボートは01:40に戻り、操っていた男は膝までずぶ濡れだった。

犯人は**貸しボート3号**で島に渡った。借りたときの名前は**E・ローソン**である。

B-01

ハーバー・イン — 宿泊者名簿

封筒B

ハーバー・イン ・ ポート・ウェスコット

日付	氏名	住所	部屋	時刻
10/12	G・アルビー、P・アルビー	コネチカット州ハートフォード	2	16:10
10/13	エヴェレット・ラスク	ターン・ポイント・ホールディングス、ボストン	4	18:30
10/13	R・ペッティンギル	ターン島	6	18:40

B-02

名刺

封筒B

エヴェレット・J・ラスク

社長

ターン・ポイント・ホールディングス社

マサチューセッツ州ボストン、ステート・スト

リート80番地

(617) 555-0148

B-03

手紙 — E・ラスクよりS・レンへ

封筒B

ターン・ポイント・ホールディングス社 ・ ポストン

レン様

土曜日に、ターン岬の土地について85,000ドルという最終提示額を携えて島へ伺います。岬なしでは南岸の計画は進められませんし、私の出資者たちは気の長い人間ではありません。

どうか奥様のこともお考えください。奥様は、筋の通った取り決めなら邪魔はしないとおっしゃっていました。

B-04

返信の下書き — S・レン（机の中から発見）

封筒B

ラスク殿

返事はもう伝えたし、何度来ても同じだ。わしが生きているうちは、岬はこの家のものだ。妻を手紙に持ち出すのはやめてもらいたい。

（署名なし、未発送）

No. 4471

1979年10月15日（月）

ラスク様 ― ハーバー・イン4号室

紺ブレザー1着 ― プレス

真鍮ボタン1個交換（J・プレス）― お客様予備

なし

ズボン1本 ― 塩じみ

火曜仕上がり

簿冊／頁	1221 / 87
登記日	1980年6月2日
譲渡人	ノラ・C・レン（寡婦、サイラス・A・レンの相続人）
譲受人	ターン・ポイント・ホールディングス社 ― 社長 エ ヴェレット・J・ラスク
物件	ターン岬（連邦灯台用地を除く）
対価	85,000ドル